花巻市 HANAMAKI

定例記者会見資料　Ｎｏ１

令和８年１０月２９日

令和７年度の決算の状況をお知らせします

１　一般会計　～令和７年度の実質収支額は１４億６，１００万円の黒字です～

本市の令和７年度の歳入は641億7,666万円、歳出は624億591万円で、差し引き額（形式収支）は17億7,075万円の黒字です。そのうち、既に令和８年度の使い道が決まっている3億975万円を差し引くと、実質収支は14億6,100万円の黒字になります。

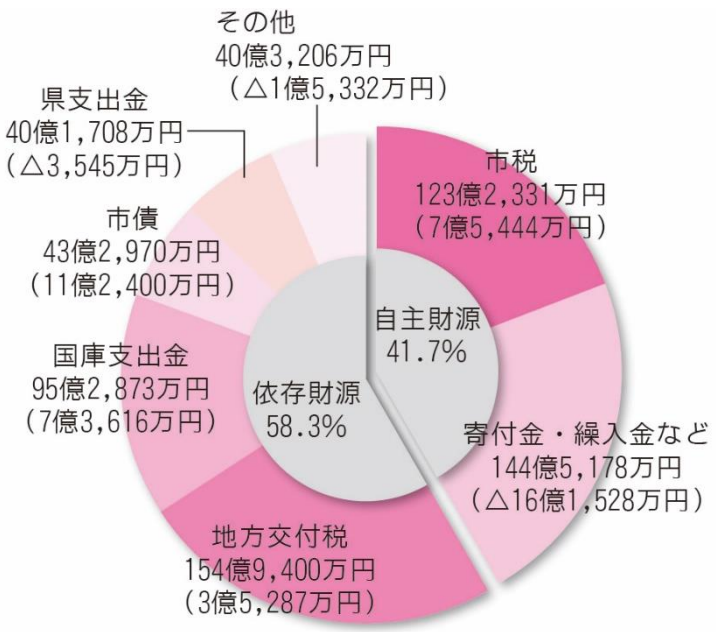
■歳入について

自主財源は、代表的な市税が7億5,444万円増加したものの、寄附金の減少などにより8億6,084万円（3.1㌽）減少しました。また、依存財源は、代表的な地方交付税が3億5,287万円増加するなど、20億2,426万円（5.7㌽）増加しました。歳入全体では、11億6,342万円（1.8㌽）増加しました。

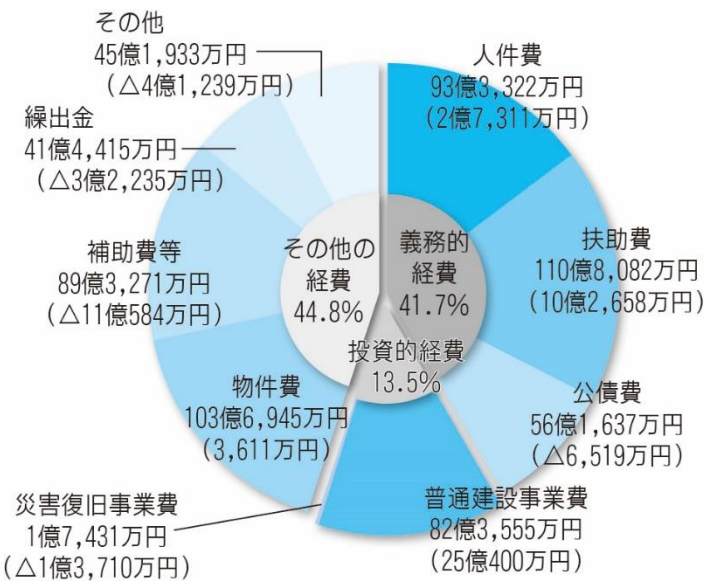
■歳出について

義務的経費は、食料品等物価高騰支援給付金の増加などによる扶助費の増加により12億3,450万円（5.0㌽）増加。投資的経費は、保育施設環境整備支援事業費の増加などによる普通建設事業費の増加により、23億6,690万円（39.2㌽）増加しました。その他の経費は、定額減税補足給付金の減少などによる補助費等の減少により、18億447万円（6.1㌽）減少しました。歳出全体では、17億9,693万円（3.0㌽）増加しました。

令和７年度歳入：641億7,666万円
（11億6,342万円）



令和７年度歳出：624億591万円
（17億9,693万円）



※カッコ書きは前年度比の数値

【問い合わせ】　担当：財務部 財政課　電話：０１９８－４１－３５１７

2　令和７年度の主な事業

■ＪＲ花巻駅東西自由通路等整備事業　2億4,176万円

東西自由通路に関する実施設計が完了しました。また、西口駅前広場整備についても実施設計が完了したほか、駐輪場の移転整備工事を実施しました。



■医療費助成事業　4億7,797万円

市内の乳幼児、小中学生、高校生、妊産婦、重度心身障がい者、ひとり親家庭などの医療費助成を行い、医療機関窓口での支払い負担を軽減しました。

■高齢者及び障がい者交通費助成事業　2,224万円

移動手段のない高齢者や重度障がいのある人のバスやタクシー、予約乗合交通の利用について、料金の一部を助成しました。

■図書館整備事業　2,250万円

新花巻図書館の整備基本計画を策定。基本・実施設計の実施事業者を公募プロポーザルにより選定し、「新花巻図書館整備基本・実施設計業務委託」を契約しました。



■定住促進事業　6,089万円

子育て世帯の住宅取得や空き家バンクの活用、若者世代の空き家活用、移住者の住宅取得などを支援しました。

■観光イベント開催事業　7,008万円

大迫あんどんまつりや石鳥谷まつり、土沢まつりなどの開催を支援しました。

■企業誘致推進事業　2億2,529万円

流通業務団地内の用地取得や産業団地などに増設を行った企業などへの支援、企業訪問活動などを行いました。

3　一般会計の基金（貯金）および市債（借金）の状況　～借金が減少しました～

■基金（貯金）について

本市の一般会計の主な基金（貯金）［財政調整基金、減債基金、まちづくり基金、ふるさと納税基金］の令和７年度末現在高は、147億円です。

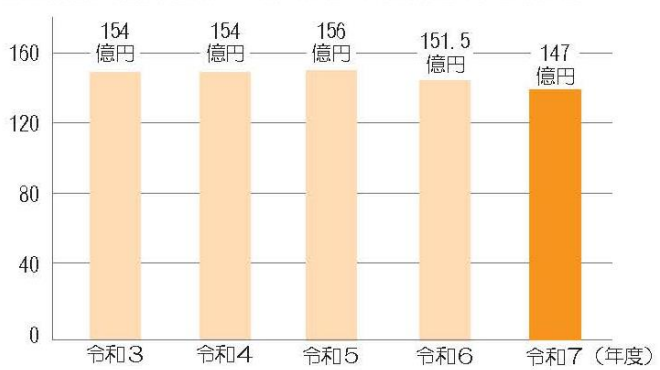
■市債（借金）について

本市の市債（借金）の令和７年度末現在高は前年度末と比べ、およそ15億円減少し、802億円です。そのうち、一般会計における市債現在高は482億円です。

なお、国から後年度に地方交付税として受けることができる額などを除いた、市独自の財源で返済しなければならない、一般会計における市債残高の実質的な将来負担額は122億円です。前年度末と比べ、およそ2億円減少しました。

主な一般会計の基金(貯金)の年度末現在高の推移

※財政調整･減債･まちづくり･ふるさと納税基金の合計額



市債(借金)現在高の推移

※一般会計と一般会計以外〔下水道事業会計および特別会計（公設地方卸売市場事業）〕の合計額



4　本市の財政状況　～健全化基準を全てクリアしています～

財政状況が良好かどうかを示す指標に、財政健全化判断比率（４分類）と資金不足比率があります。
国が示すこの指標の判断基準により、市の財政が【健全団体・早期健全化団体（要注意状態）・財政再生団体（破たん状態）】のいずれの状態にあるか、また各会計の経営がどのような状態になっているのかを判断することができます。
この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化に向け取り組んでいく必要があります。
本市では、基準値を超える項目はなく、財政状況は健全ですが、今後も引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政の健全化に取り組んでいきます。

■財政健全化判断比率

区分	花巻市の令和７年度の数値 （カッコ内は令和６年度数値）	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	― パーセント （― パーセント）	11.83パーセント	20パーセント
連結実質赤字比率	― パーセント （― パーセント）	16.83パーセント	30パーセント
実質公債費比率	9.6パーセント （9.2パーセント）	25パーセント	35パーセント
将来負担比率	64.1パーセント （50.6パーセント）	350パーセント	

■資金不足比率

会計名	花巻市の令和７年度の数値 （カッコ内は令和６年度数値）	経営健全化基準
公設地方卸売市場事業	― パーセント （― パーセント）	20パーセント
産業団地事業	― パーセント （― パーセント）	20パーセント

※表中、各基準は国が示した数値です。また、赤字額、資金不足がない場合は、「― パーセント」で表示しています

実質赤字比率：普通会計（一般会計など）の赤字比率
連結実質赤字比率：市の全ての会計（普通会計・特別会計・公営企業会計）を含めた赤字比率
実質公債費比率：市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費の財政負担を見るための比率
将来負担比率：市の全ての会計と一部事務組合などの会計に第３セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債（借入金残高など）を見るための比率
資金不足比率：特別会計などの事業の規模に対する資金不足額の比率

5　特別会計および公営企業会計（下水道事業）の決算について

■特別会計について

　特別会計は、特定の目的のために保険料や使用料などの特定の収入で運営していく事業の会計です。お金の出し入れをはっきりさせるため、一般会計とは別に管理しています。

　本市には、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・公設地方卸売市場事業・産業団地事業の５つの特別会計があり、それぞれの会計で決算が行われています。

■令和７年度の特別会計決算の総括表

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険	82億8,416万円	82億8,081万円	335万円
後期高齢者医療	25億6,528万円	25億6,080万円	448万円
介護保険	112億988万円	111億2,384万円	8,604万円
公設地方卸売市場事業	4,589万円	4,365万円	224万円
産業団地事業	11億3,222万円	11億2,770万円	452万円
合　計	232億3,742万円	231億3,680万円	1億62万円

■公営企業会計（下水道事業）について

　本市では、下水道事業が公営企業会計に該当しており、 公共下水道事業・農業集落排水事業・戸別浄化槽事業を一体的に管理しています。

■令和７年度の公営企業会計決算の状況

項目		公共下水道	農業集落排水	戸別浄化槽	合計
収益的収支（税抜き）	収　入	24億3,055万円	8億4,940万円	1億5,262万円	34億3,257万円
	支　出	23億7,934万円	8億7,046万円	1億9,433万円	34億4,413万円
	純利益	5,121万円	△2,106万円	△4,171万円	△1,156万円
資本的収支（税込み）	収　入	14億3,467万円	8億5,776万円	975万円	23億218万円
	支　出	21億8,300万円	10億8,285万円	3,743万円	33億328万円
	留保資金補てん額	△7億4,833万円	△2億2,509万円	△2,768万円	△10億110万円